

COMVO

2023

12

月号

vol. 282

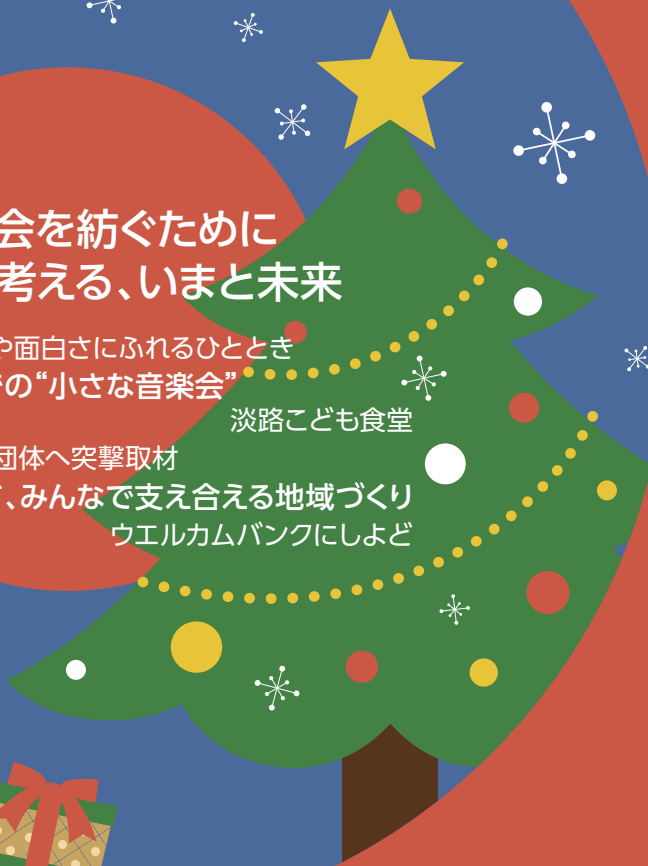
Communication & Volunteer



特集

福祉のカタチ
やさしい社会を紡ぐために
若い世代と考える、いまと未来

- 5 音楽の楽しさや面白さにふれるひととき
こども食堂での“小さな音楽会”
淡路こども食堂
- 6 ボラ基金交付団体へ突撃取材
国境を越えて、みんなで支え合える地域づくり
ウエルカムバンクにしよど





左から入江 匡さん、多田 裕亮さん、川村 日奈子さん、宇野 響さん



福祉のカタチ

やさしい社会を紡ぐために 若い世代と考える、いまと未来

「福祉」という言葉の意味を調べると、多くの辞書では「幸福」や「幸せ」と表現されています。でも、「実際にはどういふことなのか漠然としていて分からない」と感じている人や、行政の福祉サービスに関連することと理解している人も多いのではないのでしょうか。

今年度の『COMVO』では、地域などで多様な課題に取り組む団体にスポットを当て、それぞれの活動や想いを通じて『福祉のカタチ』を「見える化」し、皆さんとともに福祉についての理解を深めていきたいと思います。

今回は、大阪市ボランティア・市民活動センター 上野谷加代子所長と、本誌の人気コーナー『学生ボランティア活動連載リレーコラム』に登場した若者4人による座談会を実施。

彼らにとつてのボランティア活動の意義や、活動を通じて感じた課題、これからの地域社会に願うことなどについて語ってもらいました。

自分の関心事に ふれる機会になった ボランティア活動

上野谷 ボランティア活動は、生まれてから生涯にわたってできる、なおかつ人間にしかできない貴重な活動です。でも世間ではなぜボランティアに時間と力を費やすんだらう?と思うている人も多く、学生さんにもあまり参加いただけていないのが現状です。なので今日は若い人たちに本音の部分聞いてみたいなと思っと思っています。

まず、学生の頃って学業も大事ですし、アルバイトも忙しいと聞いたりしますが、ボランティア活動することに反対の声はありませんでしたか?



大阪市ボランティア・市民活動センター
上野谷 加代子 所長

多田 私は最初、高校の課外活動として防災啓発のボランティア活動を始めたので、特に家族などからの反対はありませんでした。それに私たちの世代は就職活動などで「勉強以外に何をすべき



多田 裕亮さん

ましたか?」と問われることが多いです。私自身も防災のプロジェクトで知り合った人からの薦めもあつて現在の仕事に就くことができたので、むしろプラスに作用したと思っています。

川村 私も家族に応援してもらっていいました。私が大学に入学したのは「コロナ禍」の最中で、すべてがオンライン授業だったんです。社会福祉学部にも所属していますが、不登校児の通所ルームでのボランティア活動を通じて、この目でさまざまなことを学べました。

宇野 僕の母校の大阪教育大学では、学校側も学習支援団体などのボランティア活動を支援していました。教員採用試験にはボランティア加点もあり、教育系の学生にはプラスに働く面の方が多いのではないかと思います。

上野谷 大学での学びの延長としてボランティア活動があったのね。入江さんは現役の学生さんですね?

入江 はい。僕の最初のボランティア経験は、高校生の時のボランティアクラブで、高校に送られてきたハガキや封筒の切手を切り取って団体に渡すという活動でした。それで、もっといろんな活動がしたいなあと思うようになって、大学1年生の時にフリースクールでボランティア活動を始めました。最近では、他の団体でも学習支援の活動をしていて、自分がやりたいことも福祉について学べる学校に転学することも選択肢として考え始めました。親も前向きに応援してくれています。

上野谷 なるほど。周囲の人は前向きに見てくれていたのね。では、ボランティアの面白さや、ボランティアで得たものは何かありますか?

支えている誰かに 自分も支えられている

多田 大学時代に防災系の団体をつくったんですが、みんなで自由に活動できることが楽しかったですね。現在も活動している『大阪防災プロジェクト』も大学時代に立ち上げたもので、こちらは『大阪・関西万博』という大きなイベントに向けて、自分たちも何かをやってみようという想いでスタートしました。



うの ひびき
宇野 響
大阪教育大学
教育学部 卒業

大学在学中、学習支援団体「みんなで学ぶ教室」に参加。経済的事情で塾に通えない中学生に向けて、学習支援のボランティア活動を始め。大学卒業後、中学校教員として1年間勤務した後、現在は「みんなで学ぶ教室」の運営メンバーとして活動。さらに税理士事務所勤務しながら公認会計士の資格取得をめざして勉強中。



ただ ひろあき
多田 裕亮
滋賀県立大学大学院
環境科学研究所 修士課程修了

国立明石工業高等専門学校に在学中に防災士資格を取得し、防災啓発ボランティアを始める。大学に編入後、兵庫県で防災啓発団体を立ち上げ、さらに2019年には『大阪防災プロジェクト』を設立。現在は、(一社)大阪市コミュニティ協会 港区まちづくりセンター防災アドバイザーとして勤務。任意団体「大阪防災企画」代表



川村 日奈子さん

川村 私は、ボランティア先で子どもたちと一緒に弁当を買って行って食べたり、公園や、月に1回のイベントで動物園に行ったり。それもこちらが進んで何かをするのではなく、子どもたちと一緒にいきたい場所を決めて、友達のような感じで過ごすのが楽しいです。

上野谷 多田さんの楽しさとはちょっと違って、川村さんは他者のエネルギーを吸収しながら自分の力にしているのね。その力を行ったり来たりさせながら、子どもたちと過ごす、とてもやさしいボランティアですね。

宇野 僕はひとり親家庭で育ったので、自分みたいな教育格差のある子に勉強を教えてあげたい、という気持ちで学習支援の活動を始めました。子どもたちは狭いコミュニティで生きているので、自分のことを認めてくれる「居場所」という機能がとても大切だと思っています。でも、教室に来ると、自分という存在

が子どもや周囲に認められているという安心感も大きくて、やりがいや認めてほしいという気持ちは、大人にも子どもにもあるんだなと感じました。

入江 僕も宇野さんに共感できます。自分自身、認めてもらうことをすごく求めていると感じています。フリースクールでも、子どもたちが自分を必要としてくれることがうれしくて、それがモチベーションにつながっている部分はありますね。

学生のチカラを 地域の中で活かすために

上野谷 あなた方はボランティア活動で、有意義に自分の存在を確認できたということね。

では皆さんから見ても、また同世代の人たちを代弁して、ボランティアに対して課題だと感じることはありませんか？

宇野 大学生はやりがいのあることを



宇野 響さん

求めていますし、ボランティアに興味のある人は意外に多いと思います。ただ、自分はこのいう活動を始めたいと思っても、お金や場所がない。そういう部分が課題かなと思います。

大学生は時間に余裕があるし、社会貢献を進める企業や自治会が若者に託せるような仕組みがあったらいいですね。支援がしたい人、この手でボランティア活動がしたい人をつなげられる仕組みがつくれたら、もっとボランティアが活発になるんじゃないでしょうか。

上野谷 本当ね。お金や気持ちを若い人たちに託していくことも大事ね。学生のボランティア精神をとにかく大事にして、あなたに賭けるから、このお金を自由に使うてちょうだいという。

入江 僕が活動しているフリースクールは、大学の近辺地区の地域活動協議会と連携して、地域の会館を活用して運営しています。とてもやりがいを持って活動できているので、若者の意見を取り入れてくれる、地域の大人がいるというところは本当にありがたいです。

川村 私は、ボランティアって中味がすごく見えづらいと感じます。ボランティア先の活動について具体的な情報がないことが多くて。だから、どうしても敷

いりえたすく 入江 匡

大阪経済大学
人間科学部 2年生

高校時代、ボランティア部での活動をきっかけにボランティアに興味を持つ。大学入学後、先輩たちが立ち上げた「不登校支援ボランティア学生団体 CLASS B」に参加。地域と連携したフリースクールの運営に携わり、不登校児童の支援を行いながら、子ども・学生・地域がつながり合える場所づくりを行っている。

かわむら ひなこ 川村 日奈子

武庫川女子大学
心理・社会福祉学科 4年生

大学2年生の時に、「NPO法人みらいず2」が実施している、不登校児童の通所ルームでボランティア活動を開始。子どもたちに自然に寄り添うことを大切に、みんなが安心して通える居場所づくりに力を注いでいる。将来は福祉の分野で働くことを目標に、現在、社会福祉士の資格取得をめざして勉強中。

居が高く感じてしまっただけで個人的には思っています。

宇野 僕が所属する学習支援団体は大学と提携していて、毎年5〜6人の学生が演習のために来るんです。そこで、こんな活動をしているんだというところが分かって、演習後も活動に参加する人もいます。そういった活動団体と大学のつながりも大切だと思います。

上野 大学だと1人が活動について知ってくれたら多くの学生に伝わるものね。そして去っていく人、入ってくれる人が循環するからとても風通しがいいわね。



うえの やかよこ
上野 加代子
大阪市ボランティア・市民活動センター所長

桃山学院大学教授を経て、2005年、同志社大学教授として着任。現在は同志社大学名誉教授・日本医療大学教授。専門領域は、地域福祉、コミュニティソーシャルワーク。『たすけられ上手 たすけ上手に生きる(全国コミュニティライフサポートセンター)』『ボランティア・市民活動実践論(ミネルヴァ書房)』など、著書多数。

多田 地域で防災啓発の活動を始めたようにした時、最初に誰にコンタクトすればいいのか分からず、地域のNPO団体から、さらに地域活動協議会につながるのに1年もかかりました。大学生で4年間しか活動できないうちの1年ってすごく大きいんですよ。

後で調べてみたら、市にも各区にもボランティアセンターがあって、そこで相談できたやん〜という感じで。その情報になかなかたどり着けなかったし、もっと気軽にボランティアセンターを活用できれば、いろんなところにつながることもできると思っただけです。

上野 私たちボランティア・市民活動センターの責任も重いね。多くの人に知られていないし、ボランティア自体が分かりにくいものなのね。

安心で温かくつながる 地域社会をこどもたちへ

宇野 ボランティアって、本当に誰にでもできることで、団体に入って活動しなくても、身の回りですることも多いと思っただけです。

例えば、地域の中であいさつをしあうとか、食事に困っている人がいたとしたら、温かい言葉をかけたり、おかずをお

すぞ分けるとか。そういうところにはボランティアの原形があるんだと思います。そんな意識を国民全員が持てたらいのにならぬ。

でも、日本人は恥ずかしいからやらないうんですよ。大人がやっつけていかないと、こどもに伝えられないんですけれど。

上野 そうね。ひと房だけのびどろをおすぞ分けることを、恥ずかしいと思わないうか。それが基本的なボランティアの始まりだと思いますね。

入江 僕も、ご近所つきあいなどのつながりがあれば、防災時にも助け合えるし、困っていても助けを求められないでいる家庭にも、あそこは大丈夫かな〜って気付けるし。それが最高のボランティアなんじゃないかと思っただけです。



入江 匡さん

見えづらくなっていると思っただけです。もっとつながって、少しの困り事でも話せるような仲になれるといいなと思っただけです。

多田 私は、地域に愛着を感じられる若い人が増えてほしいなと思っています。

いま、就職では東京への二極集中が進んでいますし、地元で地域活動を推進している人たちの中にも若いメンバーがいなくて。

地域に愛着を持つためには、そこで暮らしながら、誰もが支え合えて、自分にとって心地いい場所になっていかなくてはなりません。そしてみんなで、大阪人としての誇りを取り戻したいなと思っただけです。

上野 地域への愛着というのは、そこに居てこそそのものだし、そういう意味でも助け合いは大切ね。町に対するボランティアも、ここで育っていく次のこどもたちのために何をやるか？ということなんですよ。

これからも皆さんのお力を借りながら、大阪をいい町にしていきたいですね。ありがとうございます。

※1 大阪市が大阪市公立学校・幼稚園教員採用選考テストにおいて実施している、ボランティア活動の実績が加点される制度

※2 小学校区をおおむねの範囲として、地域団体やNPO企業などの団体が集まり、協力しながらさまざまな地域課題の解決やまちづくりに取り組むための仕組み

川村 今って、隣に住んでいる人のことを知らなかったり、ご近所さんのことすら

音楽の楽しさや面白さにふれるひととき こども食堂での『小さな音楽会』

淡路こども食堂

大学生が企画した 温かな、手作りの音楽会

こどもたちが安心して自由に過ごせるサードプレイスとして2016年に誕生した『淡路こども食堂』。代表の蔭山力雄さん家族を中心に、地域の人たちがおいしい食事の提供やフードパントリーを行い、地域のごどもたちや、子育てに奮闘するお父さん、お母さんを温かく見守り続けています。



左から 和久田紗世さん、堤 瑞さん、田中咲妃さん

音楽会』が開催されました。音楽会を企画したのは、大阪教育大学で木管楽器のフルートを学び、大学の授業の一環で社会貢献の演習として『淡路こども食堂』の運営を手伝っている和久田紗世さん。音楽会を観る機会が少ないこどもたちに、実際の演奏を通じて音楽の楽しさや面白さを知ってもらいたいと、同じ大学で音楽を学ぶ田中咲妃さん、ピアノを学ぶ堤瑞さんに声をかけて実現しました。

今回の音楽会は、0歳の赤ちゃんから大人まで、食堂を利用しない人でも入場可能です。

「普段は忙しい大人たちも、ゆったりと音楽を聴きながら、週末のひとつきを楽しんでもらえれば」と、代表の蔭山さんも会場の準備をしながら目を細めます。

大好きな居場所 音楽の美しい音色に包まれて

開演時間になると、『淡路こども食堂』の店内はこども連れの家族でいっぱい

い。中には、近所のおばあちゃんたちの姿もあります。

音楽会は、誰もが聞き覚えのあるクラシックの名曲演奏からスタート。和久田さんたちは、この国のどんな音楽なのか、こどもたちにも分かるように1曲ずつを紹介しながら演奏していきます。

こどもたちは初めて見るフルートや、美しいソプラノの声にびゅくり。中には演奏中、ステージの前で立ちつくしたまま演奏を聴いていたこどももいます。さらにジブリの映画音楽メドレー、ディズニーの映画音楽など、こどもたちを夢中にしたまま演奏は続き、およそ1時間の音楽会はあっという間に過ぎていきました。

「こんなに多くの人に来てもらえてびゅくりしました。今度は12月に、また『淡路こども食堂』でクリスマス音楽会を企画



大人もこどもも、生演奏の美しい音色にきぎ付け

します」と、和久田さん。

「これからいろいろな場所に演奏に出かけて、自分の経験値を高めながら、音楽の素晴らしさを伝えられるようになりたいです」と、田中さん、堤さんも、明るい笑顔で話します。

地域の人たちの温かな居場所、学生たちの想いとともに実現した『小さな音楽会』。こどもたちの心を豊かに満たしてくれた、素敵な秋のひとつでした。

淡路こども食堂

メール nova-jiyu-kukan@outlook.jp

令和5年度大阪市ボランティア活動振興基金 居場所づくり支援交付団体へ突撃取材

※福祉課題・地域課題の解決のために開設した居場所の、継続的な運営を目的とした事業の支援

国籍を超えて、みんなで支え合える地域づくり

ウエルカムバンクにしよど

60か国を超える外国籍の人が約4,400人暮らす西淀川区では、区の地域福祉計画・地域福祉活動計画『西淀川ささえあい♡プラン』の一環として、多文化共生の取組みが始まっています。『ウエルカムバンクにしよど』では、西淀川区在住・在勤の人たちが集まり『にほんごカフェ』を運営。区内で暮らす外国の人たちが日本語でおしゃべりを楽しみ、情報を得られる場づくりを行っています。



お月見を楽しみながら、みんなで交流

ちに『数珠つなぎインタビュー』を行い、困りごとを聞いてみたところ、人に会う機会が減ったので日本語を話せる場がほしいという声があったんです。それで準備を進めて昨年9月からスタートしました」と、代表の藤江徹さん(以下、藤江さん)。近隣の日本語学校などにチラシを配り、月に2回『にほんごカフェ』を開催。夏には淀川花火大会、秋にはお月見と一緒に楽しむ交流会も企画しました。

「顔が見える関係の中で、外国の人たちの日本での暮らし、具体的なニーズなども分かるようになってきました。『にほんごカフェ』を多くの人に利用してもらい、災害など何かあった時には支えあえる地域を育んでいきたいですねと、藤江さんは笑顔で話してくれました。

西淀川区社会福祉協議会(地域支援担当)

TEL:06-6478-2941

Eメール ny-tikatsu@tenor.ocn.ne.jp

おいでよ! 地域の子どもたち

こども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がるこどもの居場所づくりの取組みをご紹介します。

子ども大人も楽しめる居場所

トーキョーコーヒー大阪あべの(阿倍野区)

いろいろな人が集まるカフェのような雰囲気。「おかえり」と大人たちの温かな声。この名前は『トーキョーコーヒー大阪あべの』。学校に行きづらいこどもや、そのことで悩んでいる保護者の居場所です。みんなが思い思いに過ごしていて、この日いた小学6年生の女の子は、私たちに梨をむいてくれました。

「不登校はマイナスなものではなく、親がこどもの不登校を悩み、学校に戻そうとすることがこどもを逆に苦しめてしまいます。活動を通してまず親が前向きに変わると、こどもも安心して過ごせるようになる。だから、うちに来る子はみんな明るいんです」と、代表の木ノ本真里さん。こどもが自分らしくいられる居場所でありながら、保護者も支え合えるのが『トーキョーコーヒー』の魅力。不登校で悩んでいるこどもも親も、そうでない人も、気軽に立ち寄ってみませんか。



温かな雰囲気の中、思い思いの時間を過ごします

また、まずは保護者の悩みから解放することを大切に、ひと月に10回、料理や工作など(時には遠足も!)さまざまな活動を楽しんでもいます。

トーキョーコーヒー大阪あべの

Eメール tokyocoffee.27.abeno@gmail.com

記事作成 竹内朝華・中北彩実(習生)





ボランティア活動は、地域や社会をより良くしていくことに役立つとともに、自分自身も活動を通して、感動や達成感などさまざまなことが得られます。「ボランティアをしてみようかな?」と思ったら、自分が好きなこと、興味のあることなど、身近に感じることから無理なく始めましょう。

ボランティア活動に参加するには?

市・区社会福祉協議会のボランティア・市民活動センターで相談できます。気軽に利用してみましょう。



参加のかたちはさまざま

ボランティア活動には、①すでにある団体やグループの活動に参加する②ボランティア登録をして個人で活動する③仲間と団体やグループをつかって活動する、などの方法があります。初めての人には、①での参加がおすすめです。



団体やグループを探すには?

訪問して相談する

市・区のボランティア・市民活動センターに直接訪ねて相談することができます。また、各区のボランティア・市民活動センターでは、ボランティア登録を行うことができます。日時によっては担当者が不在の場合もありますので、事前に連絡しておくとう安心です。

電話やメールで問い合わせる

市・区のボランティア・市民活動センターに、電話やメールで相談することもできます。知りたい情報や不安に感じていることなど、何でも気軽に相談してみましょう。



インターネットで情報収集する

以下のホームページでは、ボランティア団体やボランティア募集などの情報を閲覧できます。希望の活動が見つかった場合は、個別のNPO、ボランティア団体等に直接連絡をする方法もあります。



[大阪市ボランティア・市民活動センター]

ボランティア団体情報検索

<https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/volunteer/search/>

[大阪市市民活動総合ポータルサイト]

登録団体紹介

<https://kyodo-portal.city.osaka.jp/userlist>

ボランティア情報

<https://kyodo-portal.city.osaka.jp/recruit/>

[社会福祉法人 大阪ボランティア協会]

関西人のためのボランティア活動情報ネット「KVネット」

<https://www.kvnet.jp>



ちょっぴり不安な場合は…

多くの団体では見学を受け入れているので、実際の活動を見てから参加を検討することができます。また、講座等に参加して、知識や技術を身に付けてから活動を始めることもおすすめです。



はじめてのボランティア・市民活動

～自分にあった活動を見つけよう～

どんなボランティア活動があるの？

ボランティア活動には、さまざまな分野のものがあります。下記を一例に、自分に合った活動を探してみましょう。

子どもや青少年を 対象とした活動

- 子育て支援(遊びや一時保育)
- 子ども食堂などの居場所づくり
- 学習支援やレクレーション活動支援 など

高齢者・障がい者を 対象とした活動

- 食事サービス(会食・配食)や見守り、訪問活動
- 外出支援や文化活動のサポート
- 点訳・音訳・手話・朗読 など

安心・安全な まちづくり

- 防災・防犯・交通安全活動
- 地域のふれあい喫茶やサロン活動
- 地域のゴミ拾い、清掃活動 など

自然や環境を 守るための活動

- 森林や里山保全、
河川や海辺の清掃活動
- 動物愛護活動
- リサイクル活動 など

芸術・文化的な活動

- 図書館や博物館での活動
(蔵書管理、館内ガイドなど)
- まち歩きや観光案内・ガイド
など

趣味や特技を 生かす活動

- 地域や福祉施設での音楽や
マジック、落語などの披露
- 園芸やパソコン、おもちゃドクター
など知識をいかした活動 など

社会的な課題に 取り組む活動

- 不登校、引きこもりの人や、
その家族への支援
- 路上生活者への支援 など

国際交流・国際協力

- チャリティバザーの運営お手伝い
- 日本で暮らす外国人への
支援活動 など

災害で被災した人を 支援する活動

- 被災地での家屋の片づけや
困りごとへの対応
- 被災地外での物資仕分けや
募金、避難者への生活支援 など

1日から参加できる活動

- マラソン大会やお祭りなどの
運営お手伝い
- ボランティア体験プログラム
への参加 など

その他

- 募金活動やフードドライブ
- 家でできるボランティア活動
(収集活動・手芸・寄付)など

POINT

身体を動かすことが好き、コツコツ作業が好きなど、自分に向いているような活動や、チャレンジしてみたい活動を明確にしてみましょう。参加したいボランティア活動がグンと見つけやすくなりますよ。

情報マーケット

Information Market

「参加してみたい!」と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接「コンボを見て」とお問い合わせください。



OCVAC のウェブサイトから
団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホのQRコードリーダーで下記QRコードを読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

③ ボランティアグループ [ISC] メンバー募集

公益財団法人 大阪ユースホステル協会

<https://osaka-yha.or.jp/>

平日 土日祝



こどもたちの合宿をサポートしたり、ユースホステルに宿泊するお客様に関西の観光案内や日本の文化を伝えます。

日 程 毎週金・土 18:00~21:00頃

場 所 長居ユースホステル (東住吉区長居公園1-1)
JR「鶴ヶ丘」駅から徒歩5分
地下鉄「長居」駅から徒歩10分

人数・条件 どなたでも
※イベント時は交通費 (上限3,000円)・食事あり

申込方法 Eメール

問合せ ▶ TEL/06-6699-5631

Eメール nagai@osaka-yha.or.jp

① アジア図書館ボランティア募集!

アジア図書館

<http://www.asian-library-osaka.org>

平日 土日祝



①アジア図書館移転オープンのための書棚整理
②蔵書データベース作成のための図書登録カード記入

日 程 月曜日 (休館日) 以外のご都合のよい日
11:00~18:00の可能な時間 (相談に応じます)

場 所 アイゼンビル2F (東淀川区淡路4-3-15)
阪急「淡路」駅西出口からすぐ
JR「淡路」駅から徒歩8分

人数・条件 どなたでも

申込方法 電話・FAX・Eメール・郵便・HP・来所

問合せ ▶ 〒533-0032 東淀川区淡路4-3-15 アイゼンビル2F

TEL/06-6321-1839 FAX/06-6323-1126

Eメール asia21@knd.biglobe.ne.jp

④ 「おとな食堂、こども食堂」のボランティアスタッフを募集!

特定非営利活動法人 希望の居場所

<http://1000c.jp>

平日 土日祝



高齢者のフレイル予防として「おとな食堂」をしています。地域の社会参加として「こども食堂」をしています。調理、話し相手などをお手伝いください。

日 程 おとな食堂: 毎週火曜日 10:00~14:00

こども食堂: 毎月第2土曜日 10:00~14:00

場 所 NPO法人希望の居場所 (都島区都島本通3-26-24)
地下鉄「都島」駅1番出口から東へ徒歩5分
JR「桜ノ宮」駅東出口から東へ徒歩12分

人数・条件 どなたでも 定員: 5人 (先着順)
交通費・食事あり

申込方法 電話・FAX・Eメール・郵便・HP・来所

問合せ ▶ 特定非営利活動法人希望の居場所

〒534-0021 都島区都島本通3-26-24

TEL/06-7175-4748 FAX06-7175-1099

Eメール 1000c.eikan@gmail.com (担当: 前田)

② 無料自習室のみまもりボランティア募集

若いケアラーの居場所 アジハラベース

<https://www.ajiharabase.net/>

土日祝



中学生・高校生を対象に無料自習室を開放します。勉強中の学生たちを見守る、勉強の相談相手になるボランティアさんお待ちしています。

日 程 毎週土・日曜日 13:30~17:30の1~2時間

場 所 アジハラベース (天王寺区味原町7-6)
地下鉄「鶴ヶ丘」駅1番出口から徒歩5分

人数・条件 大学生、社会人、主婦、シニア

申込方法 Eメール

問合せ ▶ TEL/050-5849-9938

Eメール yc@ajiharabase.net

ボランティア活動を 長く続ける

5つのポイント

充実したボランティア活動を、長く続けていくためには次の5つのポイントを参考に、自分にあった活動を探しましょう。

Point 1

興味や関心がある事からはじめよう!

Point 2

活動は余裕をもって、無理をしない!

Point 3

約束やルールは必ず守ろう!

Point 4

相手や関係者の立場を尊重しよう!

Point 5

万が一に備えてボランティア活動保険に入ろう!



⑨令和5年度 第4回 大阪府ITサポーター養成研修会 受講者募集

大阪府ITステーション

<http://www.itsapoot.jp/>

障がいのある方がITを学ぶ際にサポートができるパソコンボランティアの養成研修会を開催します。令和5年度の最後の回です。

日 程 2024/1/15(月)・16(火)各9:30~16:30

場 所 大阪府ITステーション(大阪市天王寺区上汐4-4-1)
地下鉄「谷町九丁目」駅から徒歩約600m
地下鉄「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅から徒歩約600m
近鉄「大阪上本町」駅から徒歩約800m

人数・条件 ①~③の条件を満たす方 定員:6人 参加費:無料
①大阪府内に住む・在勤・在学(高校生不可)で大阪府ITステーションの活動ボランティアとして協力可能な18歳以上の方(申込時の年齢)。
②上記養成研修の2日間に参加可能な方。
③障がいのある方がITを学ばれる際に、そのサポートができるパソコンスキルを有している方(ファイル操作、メール、Word、Excel等の基本的な操作等を説明できる方)。

申込方法 HP 締切:2024/1/4(木)

問合せ▶ TEL/06-6776-1241 Eメール sapoken@itsapoot.jp

⑤囲碁同好会

大成小学校囲碁クラブ

囲碁を何局でも好きなだけ対戦出来ます。初心者大歓迎。月1回プロ棋士の講座及び対戦が可能(1局のみ)。

日 程 毎週土曜日 18:00~21:00

場 所 大成小学校内 多目的室(東成区大今里西3-2-62)
地下鉄「今里」駅から徒歩6~8分

人数・条件 どなたでも 月会費:1,000円(入会金なし)

申込方法 Eメール

問合せ▶ Eメール htakondo@yahoo.co.jp

⑩音訳ボランティア養成講座

阿倍野区音訳グループ「糸でんわ」

音訳とは視覚に障障害のある方に書いてあるもの(書籍・新聞・雑誌など)を音声にしてお届けする仕事です。一緒に活動してくださる方を募集しています。

日 程 2024/1/17(水)~2/21(水) 毎週水曜日(全6回)各10:00~12:00

場 所 阿倍野区社会福祉協議会2階 あべのボランティア活動センター
(阿倍野区帝塚山1-3-8)
阪堺線「姫松」駅

人数・条件 パソコンの基本操作のできる方
定員:10人 参加費:500円(資料代・保険料)

申込方法 電話 締切:12/25(月)

問合せ▶ 阿倍野区社会福祉協議会
TEL/06-6628-1212

⑥『ろーたすワンダーラストVOL.2』

NPO法人 ろーたす

https://www.instagram.com/lotus_0401/?hl=ja

世界規模のワークショップ主催チーム『ワンダーラスト』が子どもたちと、様々な“表現”を通して、1つのパフォーマンスショーを創りあげます!

日 程 12/3(日) 15:00~16:00

場 所 大阪市立刈田小学校(住吉区刈田3-5-34)
地下鉄「あびこ」駅から徒歩7分

人数・条件 どなたでも 参加費:無料

申込方法 電話・Eメール

問合せ▶ TEL/090-3012-2979
Eメール npolotus.20190401@gmail.com

⑪第94回 点訳奉仕員養成講座へのお誘い

一般社団法人 大阪市視覚障害者福祉協会

<https://www.daishikyoo.org/>

点訳奉仕員を目指して、点字を初歩から学びます。晴眼者対象です。

日 程 2024/1/10~3/13(毎週水曜日・全10回)各13:00~16:00

場 所 大阪市立社会福祉センター 会議室(天王寺区東高津町12-10)
近鉄「大阪上本町」駅11番出口から徒歩3分
地下鉄「谷町九丁目」駅4番出口から徒歩10分

人数・条件 大阪市内在住・在勤・在学の人
定員20人(先着順) 参加費:無料(テキスト・点字版は用意いたします)

申込方法 Eメール・FAX・往復ハガキ ※電話申込不可
(住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号の記入必須)

問合せ▶ 一般社団法人 大阪市視覚障害者福祉協会
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内
TEL/06-6765-5600 FAX/06-6765-2554
Eメール soumu@daishikyoo.org ※上記アドレスからのPCメール受信設定をお願いします。

⑦介護離職をしないために

~仕事をしながら介護する準備できていますか~

クレオ大阪子育て館

<https://creo-osaka.or.jp/north>

介護による離職をしないために、介護にかかるお金のこと、制度のことを学び、今後の生き方や働き方を考えましょう。

日 程 12/23(土) 14:00~16:00

場 所 クレオ大阪子育て館(北区天神橋6-4-20 7階)
地下鉄「天神橋筋六丁目」3番出口から連絡
JR「天満」駅から徒歩約10分

人数・条件 テーマに関心のある方
定員:40人(先着順) 参加費:無料

申込方法 電話・HP・来所

問合せ▶ 〒530-0041 大阪市北区天神橋6-4-20 7階
TEL/06-6354-0106

⑫「連合・愛のカンパ」団体立ち上げ・新規事業立ち上げのための準備金支援

公益財団法人 さわやか福祉財団

<http://www.sawayakazaidan.or.jp/>

日本労働組合総連合会「連合・愛のカンパ」より資金を提供いただき、新たな地域の助け合い活動を初期運営資金面から支援します。

助成対象 2022年10月以降に設立された団体、または既存の団体であっても、「新しい事業」を開始した団体。
※ここでいう団体とは、ふれあい、助け合いによる生活支援活動を主たる目的とする任意団体、NPO法人、グループ、サークルなど※詳しくは応募要項を参照

助成金額 上限1件あたり15万円

応募締切 11/30(木)必着

申請方法 HPから所定の申請書をダウンロードし必要事項を記入、必要資料を添付のうえ郵送

問合せ▶ 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館7階
TEL/03-5470-7751

⑧子ども~大人まで楽しめる天文教室「星座を学ぼう」

関西で星を学ぶ会

<https://sites.google.com/view/kansaideshoshi/>

星座について学びます。春分の日のこと。歴の話から始めて第一星座がおひつじ座のわけは?など人類の星座の歴史に関するお話です。

日 程 12/23(土) 18:00~20:30

場 所 刈田土地改良記念会館(住吉区刈田9-5-27)
地下鉄「あびこ」駅3番出口から徒歩5分

人数・条件 小学4年生以上~大人
定員:30人(多数抽選) 参加費:無料

申込方法 HP 締切:12/21(木)17:00

問合せ▶ TEL/090-8121-6929
Eメール k337junamg@gmail.com

16 「2023年度公募助成金」の贈呈先募集

公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団

https://www.mainichi.co.jp/osaka_shakaijigyo/

皆さまから寄せられた「歳末たすけあい義援金」や「世界子ども救援金」「シンシア基金」などをもとに、国内外で福祉活動などに取り組む民間団体等を資金援助します。今年度から新たに「児童福祉特別枠」も設けました。2月ごろに助成先を決定します。

- 助成対象**
- ①「公募福祉助成金」(一般枠)＝国内で福祉活動に取り組む民間団体や施設が対象。
 - ②「高齢者福祉特別枠」＝高齢者福祉事業に取り組む団体が対象。
 - ③「児童福祉特別枠」＝児童福祉事業に取り組む団体が対象。
 - ④「世界子ども救援金」＝海外で支援活動する民間団体が対象。
 - ⑤「シンシア基金」＝身体障害者補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)支援に関する活動を行う民間団体が対象。
- ①～③、⑤は1団体50万円以内、④は1団体100万円以内 ※詳細はHP参照

申請方法 要項、申込書をHPからダウンロードし、必要書類をつけて郵送。

応募締切 12/15(金)必着

問合せ ▶ 〒530-8251 北区梅田3-4-5公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団
TEL/06-6346-1180 FAX/06-6346-8681 Eメール mainichi-os@sirius.ocn.ne.jp

13 2024年度 学生を対象とする次世代リーダーの育成活動に対する助成

公益財団法人 電通育英会

<https://www.dentsu-ikeikai.or.jp/transmission/subsidy/about/>
様々な社会課題に向き合い地域社会・国際交流・学術研究・教育・災害支援・文化芸術などの様々な分野で活躍する次世代リーダーの人材育成、リーダーシップの育成につながる活動を支援します。

助成対象 関西地区：大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県に、主たる事務所(拠点)がある大学公認団体または大学内ボランティアセンター、NPOなどの営利を目的としない団体(法人格の有無は問わない)

助成金額 1件(1団体)あたり上限100万円

申請方法 所定の申込書をHPよりダウンロードし、直近の決算報告書・直近の活動内容が分かる資料(パンフレット・活動報告書・パワーポイント資料等)とともにHPの申込フォームにて送信 ※HP参照

締切 11月30日(木)17時30分まで

問合せ ▶ 2024年度助成事業申込画面「お問い合わせ」フォームよりお問い合わせください

17 第5回 パイロットクラブ・チャレンジ助成金

一般社団法人 パイロットインターナショナル日本ディストリクト

<https://www.pijd1951.org/>

私たちは地域社会に前向きの変化をもたらすことを使命とし、脳関連障がい者への支援に焦点をあてて活動しています。その使命に共鳴する活動にチャレンジしている人々の活動を支援します。

助成対象 共生社会を目指して、福祉向上に関わる活動実績が3年以上のボランティア団体(法人格の有無は問いません)

助成金額 60万円(1団体あたりの上限30万円)対象事業の75%まで

申請方法 HPから所定の申請書をダウンロードし、必要事項を記入のうえメールで送付

応募締切 12/20(水)必着

問合せ ▶ Eメール pilot.international.japan@gmail.com

14 2024年度 地球環境基金 助成金

独立行政法人 環境再生保全機構

<https://www.erca.go.jp/jfge/>

地球環境基金では、国内外の民間団体(NGO・NPO)が開発途上地域または日本国内で実施する環境保全活動に対し、助成金の交付を行っています。

助成内容 7種類の助成メニューがあります(1.はじめる助成、2.つづける助成、3.ひろげる助成、4.フロントランナー助成、5.プラットフォーム助成、6.特別助成、7.LOVE BLUE助成) ※詳しくはHPを参照

助成金額 1件につき50万～1,200万円 ※助成メニューにより異なります

申請方法 所定の「地球環境基金助成金申請システム」から提出 ※詳しくはHPを参照 ※システム上、必須項目が未入力の場合など「エラー」となり、修正・提出に時間がかかる場合があります。お時間に余裕をもって手続をお願いいたします。

応募締切 12/4(月) 13:00

問合せ ▶ 独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部 地球環境基金課
TEL/044-520-9505 Eメール kikin_youbou@erca.go.jp

情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。



申し込み方法

専用フォームから情報をお寄せください。
<https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌[COMVO]編集室
天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618
Eメール ocvac@osaka-sishakyo.jp (担当:泉・竹澤)

※募集締切は掲載希望発行月の前々月末日とします。例:2024年2月15日発行号(3月号)に掲載希望の場合は2023年12月末まで

おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

15 困難な状況にある子ども達への学習支援

公益財団法人 中辻創智社

<https://nakatsuji-ff.org/offering/kodomo/>

学習指導員として大学生などの若い世代を雇用することで若者を支援するとともに、困難な状況にある子ども達とふれあう経験を持った若者が活躍する事で、子ども達を支える社会の手が広がっていくことをサポートします。

助成用途 助成金の50%以上を学習支援のための人件費(大学生や大学院生等の若い世代)に充てることを必須とします。それ以外は子ども達が集まる場所を整備し運営するための用途(新型コロナウイルス対策を含む)に支出可能です。 ※詳しくは応募要項を参照

助成金額 1件あたり上限50万円

募集地域 京都府、大阪府、滋賀県

締切 12/4(月)

申請方法 HPから所定の申請書をダウンロード・記入し、必要資料を添付のうえメールで送信

問合せ ▶ Eメール info@nakatsuji-ff.org

OCVAC(おくばっく) オリジナルエコバッグをプレゼント!!

いつも情報誌COMVOをご愛読いただき誠にありがとうございます。
P14上段の読者アンケートにご協力いただいたみなさまの中から抽選で毎号5人に、大阪市ボランティア・市民活動センター公式マスコットキャラクター『おくばっくん』をプリントしたオリジナルエコバッグをお送りします。

ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。

※応募は、ハガキ、ファックス、Eメール、またはQRコードからお送りください(P14参照)

小さくたんで
持ち歩けるよ!



縦410mm×横380mm

NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリレースタイルでお届けします。



はじめての子育ての愛着の絆づくりを応援します

NPO法人 O'hana～親と子の絆を育むお手伝い～

『O'hana』は、「虐待のない、誰もが安心して子育てできる社会」を目指し、はじめての子育ての方を対象に、家庭訪問を通じて、しあわせな親子関係をつくれるように、赤ちゃんの成長、発達段階に合わせた愛着の築き方をママ・パパに伝える活動をしています。

<House Call Supporter (訪問型子育て支援員)派遣事業>

出産前から産後約6ヶ月間、週に1度、子育て支援員がご家庭を訪問します。出産前は赤ちゃんを迎える準備や不安な気持ちを、産後はママ・パパが自信をもって子育てできるようサポートをします。費用は無料です。

<House Call Supporter養成講座>

子育てを支援し、親の長所、強みに焦点をあてて親をエンパワーする育児支援の専門家を養成しています。

<https://npo-ohana.org>

<つどいの広場 『び・すけっと』>

2023年10月から、大阪市地域子育て支援拠点事業を受託し、大阪市北区で0～3歳未満のこどもの遊び場を運営しています。

わたしたちは、家庭訪問も、つどいの広場も、“び力”ながら、みんなで子育てを“すけっと!”できたらと思っています。

様々な形でのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



House Call Supporter養成講座の様子

第14回

被災障害者⇄関西

ポジティブ生活文化交流祭

入場
無料

2011(平成22)年から、地域も立場も越えてみんなが知り合うことが、いざというときに大きな力になるという思いで2011年から続けてきた「ポジティブ生活文化交流祭」。今年は福島からのゲストが来場されます。

～今年のテーマは～

『動き始めた社会の中で、誰も取り残されないように』

日時 11月23日(木・祝)午前11時から午後4時(雨天決行)

場所 大阪市立長居公園自由広場(東住吉区长居公園1-23)

アクセス 地下鉄 御堂筋線「長居」駅徒歩5分 JR 阪和線「長居」駅徒歩10分



会場は毎年約3000人の参加者でにぎわいます

ステージ

ステージはいつもフラット。地べたで歌います、踊ります。
大阪プロレスさんの試合やちびっこプロレス体験も開催。

出展

関西の障害者団体や有志たち50団体が出展。
作業所の商品だけではなく、いろんな食べ物や飲み物もあります。

※本イベントの収益や皆さまからの寄付を「ゆめ風基金」を通じて被災障害者支援に使わせていただきます。

運営・主催 東北⇄関西 被災障害者支援 ポジティブ生活文化交流祭 実行委員会

問合せ 事務局:日常生活支援ネットワーク(担当:椎名)

TEL&FAX:06-4396-9189 E-mail:pojitivematuri@gmail.com



「東淀川防災アシスト」での防災訓練

地元大阪を災害に強い街へ

私は、現在大学院で防災の研究をしており、AI・IT技術の開発や災害対応の勉強をしています。防災士の資格取得をきっかけに地域の防災活動に興味を持ち、大阪

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

学生ボランティア活動

がんばれ!!

連載リレーコラム

No.36

を中心にくいつかの活動を行なっています。

一つは地元東淀川区の防災リーダーなどで構成される「東淀川防災アシスト」の活動です。区内各地の防災訓練や地域イベントに参加し、住民への啓発活動や防災関係者に助言を行なっています。災害時の円滑な対応のためには、このような活動により各地域の防災リーダー・区役所・消防・社会福祉協議会などの様々な機関と顔の見える関係を構築することが必要であると考えています。

もう一つは主に大阪のユース(10代・20代)が対象である「グローバルユース防災サミット」の活動で

藤田 翔乃

京都大学大学院
情報学研究科社会情報学専攻



プロフィール

所属団体: 東淀川防災アシスト、グローバルユース防災サミット
趣味: バスケ、お笑い
学 年: 博士課程3年

す。大阪・関西内の防災施設に訪れたり、トルコ・ドイツなどの海外のユースと交流しグローバルな視点から防災を学習したりしています。僕よりも若い世代に対して防災に興味を持ってもらい、将来の大阪を守る防災人材を育成することを目標としています。

これらの活動を通し、共助としての地域防災や若い世代への啓発・人材育成など、大学院では学べることができない多様な側面からの防災を学んでいます。これからは南海トラフ地震などの大規模災害を見据え、僕が得た知見や技術により地域の防災力向上を実現し、地元大阪に還元したいと思っています。

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただけます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当:泉・竹澤)

エントリーはこちらから▶



アンケートにご協力ください!

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見やご感想をお聞かせください。抽選で毎月5人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
アなし イ1年未満 ウ1～4年 エ5～9年 オ10年以上
2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
アある イなし ウまだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか?その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。

※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター

「読者アンケート 情報誌COMVO282号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2023(令和5)年12月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



編集後記

秋から冬へ、駆け足に進む季節の中で、『COMVO』も早くも12月号の発行となりました。

今号の特集では、若い世代の4人が集合。彼らのボランティア経験や、地域に感じていることなどを率直に語ってくれました。

とても意外だったのは、“若い世代が地域にいない”という声を多く聞く中で、彼ら4人ともが、地域のつながりの希薄さを気にかけてくれていたこと。学校や職場中心の生活で、いまは多くの若者が地域から離れてはいても、きっと未来は、彼らが彼らのこどもたちのために、温かく人がつながる地域をつくっていくのだと、うれしい気持ちになりました。

若い世代の人たちのこれからを、『COMVO』でも力いっぱい応援してまいります。

ボランティア・市民活動情報誌 「COMVO」へ広告募集!

赤枠が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

- 体裁・発行・部数
B5判 16頁(フルカラー)年10回発行
- 広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申込ください)
- 申込方法
下記まで問合せください



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
		幅	高さ
表4 1ページ	234,000円	240	170
表4 1/2ページ	127,500円	117	170
本文 1ページ	156,000円	257	182
本文 1/2ページ	85,000円	117	170
本文 1/5ページ	38,000円	48	162

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。

それ以外は別途製版料が必要です。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

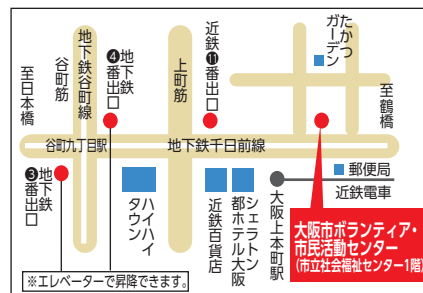
所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

- 開館時間:午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)
 - 休館日:日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日:2023年11月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)
 - 発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぼこ・あ・ぼこ
- 掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。

●本誌は大阪府共同募金会の助成を受けて作成しています



「COMVO」主な設置・配布場所 ウェブサイトからもチェック可能! <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/comvo/>

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サースカウター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪府役所・区役所、区民センター、グレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

※OCVAC(大阪市ボランティア・市民活動センター)では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

Twitter <http://twitter.com/ocvic1998> Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森が戻ってきた。
鳥や虫や動物が戻ってきた。
みんなに笑顔が、戻ってきた。



再生プロジェクトを行っているバリヤン地区の小学校の児童から贈られた絵。
「わたしたちを守って!」という動物たちのメッセージをこめて、描いてくれました。

インドネシア熱帯林の再生プロジェクト

きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木材を少しでも地球に返したいという思い。
たくさんの生き物が暮らす森を取り戻すことで地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。
そして、地元の人々の生活を助けること。
地元の子どもの明るい笑顔を力にして私たちは これからも、未来を育む活動をつづけていきます。



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社 www.ms-ins.com

「保険会社は、紙を多く使う仕事だから木を地球に返そう」と始めた運動でした。だけど

そんな単純な話ではなかった。

インドネシア・バリヤンで知ったことは「森林は地元の人たちが、生きるために仕方なく木を切っていたという事実」。「植木に加え、果樹も育て果実を農民の新しい収入源にする」というプロジェクトをはじめた。人と森、生きものが共に生き場所を取り戻そう。

「植えた木の本数」「面積」といった数値だけでは本物の意味で熱帯林は再生しません。地域の人々と手を組み合せて考えた時間が、明日の地球環境を再生させる。三井住友海上は、まだまだ勉強中です。

三井住友海上は、生物多様性の保全活動をすすめています。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

